

うた 歌と せつ 石けんの あわ



うし いっしょ うた
牛と一緒に歌っている
キンボール大管長のことを考えて、
アリスはクスクスと笑いました。



す。アリスは本を窓辺に置きました。そして、その手前
に植物のはちを置いて、本のかたはしをおさえまし
た。次に、重たいコップを手前に置いて、もう
一方のはしをおさえました。これで、作業
の間に本を見られるようになりました。

アリスはボウルやコップ、スプーン
をごしごしあらいながら、賛美歌を
歌いました。温かい石けんのあわ
は、アリスの手を心地よく包みまし
た。そして、歌はアリスの心を幸せ
にしました。

次の日もアリスは歌いました。そ
して、その次の日も。アリスはそれ
ぞれの賛美歌の歌詞を覚えようとし
ました。それから次の歌に進むのです。
アリスは新しい賛美歌も覚えました！ア
リスは数年間、ピアノのレッスンをう
けました。知らない賛美歌があっても、ピアノで
音を覚えられました。

それからすぐ、アリスはお皿をあらうのがあまりいやで
はなくなりました。時には、進んでやりたいように思うことさえ
ありました！歌いながらイエスについて考えるのは、すてきな
ことでした。新しい賛美歌を学ぶのは、新しい友達を作るよう
でした。周りがどんなにさわがしくなっても、賛美歌はアリスが
平安を感じる助けになりました。●



このお話に出てくる預言者スペンサー・W・
キンボール大管長は、1973年から1985年
まで教会の大管長でした。わたしたちは過
去の預言者から多くのことを学べます。

なが だい お皿を運
ぶのを手伝いまし
た。アリスはもう、物
をわってしまわないくら
いの年齢になっていた
ので、お皿洗いをまか
されておりました。
アリスは流しに石けん
水をためました。

わたしが家事をする必要がなければいいのに、と
アリスは思いました。そのとき、アリスは初等協会で教
わったスペンサー・W・キンボール大管長のことを思
い出しました。大管長も小さいころ、雑用をしなければ
なりません。大管長は牛のちちをしぼるとき、賛美歌を
歌っていたそうです！

アリスはキンボール大管長が牛とデュエットしているところ
を想像して、クスクスと笑いました。

そのとき、アリスにアイデアがうかびました。アリスも預言者
のようになることができます！アリスは賛美歌集を手に取り、
最初の歌のページを開きました。

どうにかしてそのページがとじないようにする必要があります

イラスト/エリン・テーパー



りました。アリスはクララにあげました。
お父さんがもどって来たときも、キッチンがそうぞうしくて、
散らかったままでした。アリスはもっと楽におだやかな気持ち
になれたらいいのに、と思いました。
ようやく、昼食が終わりました。アリスは、きょうだいたちが

きょうかい きかんし
教会機関誌
マリッサ・ウィディソン
(ほんとうにあった話をもとに書かれました)
アリスはめんをすくって、弟のボウルによそい
ました。アリスは小さい弟たちや妹たち、
5人全員のことを大好きでした。年下の子たち
を助けると、いい気持ちになりました。けれども、
いちばん年上であるというのは、時々大変でも
ありました。新しい赤ちゃんが家にやって来てか
ら、アリスは手伝わなくてはいけなことがも
とふえていました。家の中は大忙しでした！
「今日は教会で何を教わったの？」とお父さん
が聞きました。
「イエス様のこと！」とアリスの妹のサラが言いま
した。サラはアップルソースをお皿中にぬりつけました。
アリスはほほえみました。サラはとてもかわいい子
です。そして、周りをとてもよこす子でもあります。
「わたしはキンボール大管長について教わって……」とアリス
は話し始めました。けれども、そのとき、お母さんが別の部屋か
らよびました。お母さんは赤ちゃんのことで、お父さんの助け
を必要としていたのです。
「ごめんね」とお父さんは言いました。「すぐもどるから。」
お父さんがお母さんを助けている間、アリスはほかのみんな
を助けました。エリックが牛乳の入ったコップをひっくり返しま
した。アリスはそれをふき取りました。サラが泣き出しました。
アリスはサラをだきしめました。クララがもっとめんをほしが